地球温暖化、気候変動な て学校教育の場において

中心に受けました。どのでは、水処理メーカーを であったように思いま になったのも自然な流れ インターンや就職面談

■水処理の最先端を

多い分、多角的に社会へ



ンターンシッ 一度当社のイ 生さんがいま したら、ぜひ

してみたい」と志すようり口に活躍できることを いました。 で水環境デザインを専攻 生時代は社会環境工学科 多かったこともあり、 に触れ、意識する機会が 考える上でも「環境を切 の接点、つまり就職先を をテーマに研究を行って どといった『環境問題』 水処理や廃棄物処理 社会と自分と く長く働き続けられると いう点、そして選択肢が

います。 を考えた際に選択肢が多 で連携して事業展開して ンスまでグループ会社間 など、施設の設計・建設 では水族館の水処理設備 らに生活に身近なところ から維持管理、 (浸出水処理施設)、さ塩施設、産業廃棄物施設 後々のキャリア メンテナ

の用水排水施設、し尿処 ちろんのこと、民間工場 反応タンク設備、汚泥脱

きました。これまでに沈詰めていく業務を行って 様や、現場に据え付ける 当社が受注した設備の仕 砂池設備、沈殿池設備、 ための配置など、詳細を

「水処理の最先端で活 躍したい 肢でキャリア

共有できる学 きたい」、こ を見据えてい うした想いを

と近いところでさまざま部の中でも特にお客さま

な業務に携わってきまし

昨年からは新

震災で深めた仕事

の意義

## やインターネット、そし子どもの頃からテレビ

S&M技術統括部S&M技術三部 エンジニアリング事業本部 水ingエンジニリー: gを志望した決め手といしたが、最終的に水in

公共の上下水道施設はもいう点でした。当社は、 広い仕事』をしていると うのが『環境に関わる幅 で現場を学び、2年目か間の後、約半年間工事部 りました。社内外の関係 らは設計部署に配属とな 者と調整・協議しながら、 へさん

の一つでもあります。目 の前の業務だけでなく、 発するなど技術開発に力 報プラットフォームを開 おり、当社においても情 術継承の解決に直結する を注いでいる重要テーマ ものとして注目を集めて

が当社にはあります。 などにも没頭できる環境 将来を見据えた先行研究

えています。特にIT・に挑戦していきたいと考 最中ですが、汚泥から枯を一つひとつ学んでいる社が保有する幅広い技術 な設備の詳細設計を担当 が直面する人手不足、技 AI活用については業界 たな技術の開拓にも果敢 市場へと浸透していく新 技術をはじめ、これから 汚泥処理設備の自動運転 する技術やAIを用いた **渇資源であるリンを回収** 入社4年目の現在も当

## 水を仕事にする魅力、

がありました。そんな中、くりがしたいという思い は「水」に関わるもの け、縁あって入社し、今ていることに感銘を受 員を志望していた中、 の多くが建設会社や公務 会員献度の高い事業をし 持管理製品の製造など社 大成機工が水道管路の維 をしていました。 同級生 を専攻し、水理学の研究 大学では土木建設工学■「水」のものづくり 私

の検討・開発など、技術や既製品の改良、新製品援(客先への製品PR) 年で19年目になります。 し、これまで主に営業支 入社以来技術部に所属 した。当時、私震災を経験しま どによる漏水の は地震による水 道管路の破損な 度まで東北支店 から2012年 時代に東日本大 に勤務していた 印象的な出来事とし ■東日本大震災の経験 2009年



までなかなか馴染みのな 私自身、特許はこれ を行い

ためにも重要なものとい う認識を日々深めていま オリジナル製品として自 いものでしたが、特許は 場調査 たこと にオー 位に適 まで一 するこ 製品で

える歴史があります。

大成機工は水道管路では水道管路 技術者としてもさまざ とにチャレンジで きる環境にあ 事業体や他企業り、全国の水道

技術部 係長大成機工

備と、下水処理工程の上水設備、消化ガス発電設

流から下流まで多種多様

してきました。

とを身をもって実感し それを復旧さ

## 新たな技術の開拓に挑戦

計、流量計、濃度計、U 場に設置している水位 場に設置している水位

西宮市にある本社で中 ■長期見据えた 営業活動

に負けない製品群

担当者が培ってきた営業

ていますが、これまでの

カーで、業界トップクラ分野で扱う計測機器メー断、計量、海洋・河川の スのシェアを誇る製品を ■トップシェア誇る

更新推奨、新商品の提案設製品のメンテナンス・ などの業務を行っていま なる官公庁へ訪問し、既 目になります。3年ほど途採用されて、現在5年 属されました。もともと 文系かつ前職も自動車部 前に転勤で東京支社に配 しては全くの素人でし ったので、計測機器に関 カーの営業担当だ

Eアドバンテック

水環境事業部 東京 東京営業グループ 東京営業部

西井 瞭平さん

務に励んでいます。

など日々勉強しながら業 内や現場で積極的に聞く

が一般的な受注の流れに

なりますが、以前、官公

が、分からないことは社されることもあります

者を介して、官公庁に製

た。

品を導入してもらうこと

と感じています。元請業お製品を受注できている

専門性の高い知識を要求

た。時には電気設備など

実績のおかげで、今もな

ードでカバーすることを速やかに対応して、スピ とで、生産性も向上しま 創出した時間をお客さま 心掛けています。そこで 見積書や仕様書の作成な への訪問などに充てるこ 専門知識が乏しい分、 埼玉県エリアを担当し 品から当社の製品に更新 属されたことで、既設製当者が関係部門に再び配 件がありました。役所の庁から直接受注できた案 してもらうことができま 当社と懇意にしていた担 人事異動で20年ほど前に

らないので、長期を見据 がすぐに結実するとは限 取り組んでいる営業活動 こうした経験から、

かりしているので、専門Tなどの教育体制もしっ やすく、部署間での連携 て仕事をしたいという方 す。には向いていると思いま 知識がなくても、安定し も取りやすいです。

っても上司や先輩に聞き業務上、不明な点があ O J

るとともに、風通しが良製品ラインナップ、品質 い社内環境が魅力だと思 当社は他社に負けない





